

いのちの  
虹に  
なりたい



# すべてのいのちの虹になりたい



〈神奈川〉横浜市南部病院



〈三重〉松阪総合病院 緩和ケア病棟



〈北海道〉重心西小樽病院みどりの里



〈宮崎〉日向病院



〈熊本〉みすみ病院



〈岩手〉岩泉病院

## それが日本最大の社会福祉法人「済生会」の願いです。

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44（1911）年に創設されました。

以後100年以上にわたり医療・福祉で実績を積み重ねてきました。

その歴史を基礎として、未来に向かって果たすべき

三つの目標を掲げています。



- 生活困窮者を **済**う
- 医療で地域の **生**を守る
- 医療と福祉、 **会**を挙げて切れ目なく提供する

病、老い、障害、境遇……今、悩むすべてのいのちの虹になりたい。  
済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

■済生会の施設・事業数と延べ利用者数（平成29年度実績）

- 医療施設 97 = **1,684**万人
- 生活困窮者支援事業 = **16**万人
- 公衆衛生・保健予防活動 = **93**万人
- 無料低額診療事業 = **212**万人
- 瀬戸内海巡回診療 = **8**千人
- 介護老人保健施設 30 = **99**万人
- 社会福祉施設 158  
同事業 263 = 計 **355**万人
- 公益事業・施設 209 = **88**万人

表紙：長野保育園



〈神奈川〉湘南平塚病院 ホームレス巡回健康相談

済

生活困窮者を濟う



大阪・釜ヶ崎地区健診事業。大阪府済生会支部の8病院とNPO法人・釜ヶ崎支援機構が共働で、平成22年度から実施

## 創立の原点は無償の「施薬救療」

済生会設立の目的は、生活に困っている人々を医療の面で救済することです。聖徳太子以来の無償治療を意味する「施薬救療」を理念として掲げ、大正初期から全国に病院や診療所を開設して無料治療券を配布。スラム街には巡回診療班を派遣するなど困窮者に医薬を届けてきました。

戦後もその活動は続き、生活保護受給者をはじめ経済的に困窮している人々には、医療費を無料にしたり減額したりする「無料低額診療事業」を行い、28年度は延べ207万人がその対象となりました。

また、日本で唯一の診療船「済生丸」を運航し、小さい島々の多い瀬戸内海で巡回診療を行うなど、離島やへき地へ赴く医療活動も続けています。

### そして「なでしこプラン」

さらに近年は、支援の対象を独り暮らしのお年寄りやホームレス、DV被害者、刑務所出所者、外国人など新たな困窮者へも拡充。訪問して診療、健診、予防接種を無料で行う、済生会独自の生活困窮者支援事業「なでしこプラン」を展開し、28年度は延べ16万人に実施しました。



「四代目済生丸」。船内での胃透視検査



検診を受けるため「済生丸」に乗り込む、岡山県飛島のお年寄りたち



〈大阪〉野江病院 利用者に無償事業を説明するMSW（医療ソーシャルワーカー）



大阪・釜ヶ崎地区健診事業の問診



横浜寿地区無料健康診断。神奈川・静岡・埼玉の3県済生会が合同で実施



福岡総合病院 小呂島（おろのしま）での定期健診



〈埼玉〉栗橋病院 茨城県と栃木県にある薬物依存者のためのリハビリ施設で、無料の出張健診



〈新潟〉三条病院 障害者施設で無料健診



滋賀県病院 基地病院として  
ドクターヘリを運営



〈茨城〉水戸済生会総合病院  
研修医も同乗したヘリ内での診察

生

医療で地域の生を守る



〈山口〉下関総合病院

## 最新医療と手厚い看護で患者に寄りそう

済生会は命の面から地域を支えます。最新の医療機器、高度な技術、手厚い看護によって、高度急性期、急性期、回復期、慢性期など段階に応じて対応し、常に患者の立場に立った医療システムを提供します。

災害時には、病院に配置された国のDMAT（災害派遣医療チーム）が出勤するほか、済生会独自に全国を6ブロックに分けて災害基幹病院・準基幹病院を定め、診療救護班や救援物資を送るシステムを整備しています。被災した福祉施設等を支援するなど、状況に応じた支援活動を展開しています。

医療の展開は、国内だけにとどまりません。ベトナム・ダナンがん病院と連携協定を締結して医師や各技師の研修を受け入れているほか、タイやモンゴルとの医療交流、バングラデシュでの病院運営など協力を続けています。



山形済生病院 東日本大震災でDMATとして宮城県仙台市に赴いて活動する職員



熊本病院 熊本地震発生直後から外来ホールで救急患者に対応



〈新潟〉三条病院 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」



愛知県済生会リハビリテーション病院



〈茨城〉水戸済生会総合病院 ハイブリッドカテ室



〈岡山〉吉備病院 訪問リハビリテーション



〈鳥取〉老健はまかぜ ロボットスーツHALを導入し歩行の練習



新潟第二病院と福岡総合病院で研修を受けるベトナム・ダナンがん病院の医師



〈山口〉 貴船福祉ケアセンター

会

医療と福祉、会を挙げて切れ目なく提供する



長野保育園

## DCAT(災害派遣福祉チーム)も独自に設置

医療と福祉は密接な関係にあり、済生会は保健・医療・福祉を総合的に担うことができる団体です。介護老人保健施設では通常の利用に加え、生活困窮者に向けた「無料低額利用事業」も実施。困窮者のための養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ケアホーム、サービス付き高齢者向け住宅など多くの老人福祉施設を運営しています。また、地域包括支援センター、訪問看護・介護事業も展開しています。

医療ケアが必要な重度心身障害児(者)施設のほか様々な障害者施設、保育所をはじめ虐待などにより家庭で暮らせない子どもを預かる乳児院や児童養護施設、刑務所等出所者の社会復帰を支援する地域生活定着支援センターも運営しています。

高齢社会における災害には、介護面における救援が欠かせません。済生会は特別養護老人ホームに独自のDCAT(災害派遣福祉チーム)を設置。被災地の福祉施設で高齢者や障害者の介護に当たります。

医療と介護を同時に担うシステムは海外からも注目されています。近い将来、高齢化問題に直面する中国・上海の医科大学と連携し、研修の受け入れを開始しました。



大阪乳児院



〈佐賀〉特養めづら荘 リゾートホテルのような外観と開放的な内装が特徴だ



熊本福祉センター 熊本地震では他県からの職員延べ27人がDCATとして派遣された



〈三重〉明和病院 リハビリ用スロープ



〈三重〉明和病院にある医療型障害児入所・療養介護施設「なでしこ」でのレクリエーション



福井県済生会病院 乳がん術後のリハビリ



山口地域ケアセンター 上海健康医学院の教員5人を迎えた研修で温泉プールでのリハビリを見学



〈大阪〉吹田特養高寿園 歌のレクリエーション



〈大阪〉特養富美ヶ丘荘 認知症の人と家族が介護生活をオープンに語らう認知症カフェ



〈愛媛〉小田特養緑風荘、小田老健ふじの園の合同「新緑祭」

# すべての人が共生する 地域包括ケアシステム

済生会は全国40都道府県で387施設を有し、759事業を展開しています。医療・福祉を担う日本最大の社会福祉法人として、急速に進む日本の少子高齢社会に対応する責務を負っています。その一つが国の進める「地域包括ケア」、住み慣れた家で長寿を全うする医療・介護のシステムです。主に高齢者が対象ですが、済生会はさらに一歩進め、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の理念の下、どんな人も排除されない地域にしたいと考えています。お年寄りはもちろん、がんなど病を抱えて生きる人、障害者や刑務所等出所者、DV被害者、外国人、引きこもり、貧困の子ども……こうしたすべての人が共に暮らせる街を、行政、NPO、ボランティアなど各団体と連携しながらつくっていくのです。このため済生会は、この任に当たる「地域包括ケア連携士」の養成を開始。平成32年度までに500人、誕生させる計画です。



〈愛媛〉松山医療・福祉センター 急性期の医師・看護師と訪問看護ステーションが協働、がん患者宅を訪問診療



福井県済生会病院 がん相談支援センターではがん患者の就労を支援

〈大分〉日田病院 リハビリ中



その先へ

どんな人も排除されない地域に



〈栃木〉宇都宮病院 性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター。ここ1カ所に相談するだけで、被害者を警察、医療機関、弁護士など必要な所につなぐ



済生会地域包括ケア連携士の養成研修



〈愛媛〉松山ワークステーションなでしこパン作りを通じた障害者の就労継続支援



〈大阪〉りんくうワークス 障害者のための就労継続支援事業所



静岡済生会総合病院 外国人のための無料健診



山口地域ケアセンター 出所者を介護職員として採用するため山口刑務所に出向いて面接



山口地域ケアセンター 介護職員として就労する山口刑務所の出所者



富山県地域生活定着支援センター 出所者支援を実施



大分県地域生活定着支援センター 出所者を招いて職員と花見会



山口地域ケアセンター 高齢者と子育てグループが一緒にお花見

さらに先へ

地域のつながりの中心を担う



〈岩手〉陸前高田診療所 診療所前の“復興たんぼ”で田植えをする気仙小学校5年生

## 「安心、のある先進的な「まちづくり」を

病院・福祉施設は、提供するサービスを通じて地域に安心感、安定感をもたらします。済生会は、それをさらに強固にするため、例えば、認知症支援ナースの養成を開始しました。認知症は高齢化に伴って増大すると予測されますが、他の疾患で入院した患者に認知症状が出た場合の早期発見、もともと認知症のある入院患者への対応や他の看護師への指導などに最前線で当たります。全病院の全病棟に配置を目指しています。

病院・福祉施設のサービスはまた、雇用の創出、産業振興、居住人口増加の機能を果たすこともできます。地域のつながりが薄れている現状を踏まえ、済生会は100年以上の歴史で培ったつながりを基に、地域住民、他の団体、企業、行政と連携し、「済生会タウン」づくりを構想していきます。

こうした様々な先進的な事業に取り組むため、平成29年、「済生会保健・医療・福祉総合研究所」を立ち上げました。



済生会の「認知症支援ナース育成研修」。全病棟に認知症に対応できる看護師の配置を目指す



滋賀県病院 認知症の症状がある高齢者の急性疾患にも多職種で対応



兵庫県支部 高齢者向け相談所「なでしこ暮楽部」。孤独死を防ぐため、大団地を巡回



〈愛媛〉老健にぎたつ苑 同苑では地域住民対象のヘルパー資格取得講習会を定期的に開催



熊本病院 地域とのつながりを深める済生会フェア



済生会総研(済生会保健・医療・福祉総合研究所) 開所式



〈栃木〉高齢者ケアセンター 施設内で地域ぐるみの夏祭り

# 人材育成と働き方に、<sup>いくえ</sup>幾重もの制度

医療・福祉サービスの根幹は「人の力」です。済生会はその力をつくるため職員に各種のキャリア支援制度や研修システムを用意しています。

医師では、臨床研修指導医の資格取得のワークショップを年3回、開催。このハードな指導医の下、初期研修医は実習を重ね、全国組織を生かした大都市と中山間地域での経験を相互に積むことができます。

看護職には各段階での研修のほか、専門や認定看護師の資格取得のため補助制度が設けられています。毎年、公的な資格である認知症支援ナースの育成研修も済生会単独で行なっています。薬剤師やコメディカル、医療ソーシャルワーカー（MSW）等のほか事務職への研修も行われています。

医学・福祉共同研究、診療科別医師や管理栄養士など組織を横断する職種ごとのグループへの研究助成制度もあります。また、年1回、2000人以上が参加する済生会学会を開催し、医療・福祉の成果を公表しています。

全国7カ所にある看護専門学校が一堂に会する研究発表会も開かれます。

さらに、職員の働き方にも力を注いでいます。済生会の職員の7割は女性で、院内保育所や病児保育、短時間正職員制度、離職者復帰プログラムなどワークライフバランス（WLB）を重視した様々な施策を取り入れています。障害者雇用にも積極的に取り組んでいます。

全職員が各職務の研鑽に励み、生き生きと働けば職場は活気に満ち、患者・利用者さんに最高のサービスが提供できる。済生会は、そう考えます。



福井県済生会病院院内保育所



済生会が独自で実施する公的資格の認知症支援ナース育成研修

はぐく  
**育む**

人をつくり、働きを支える



山間地で地域医療を学ぶ東京と大阪の初期研修医

毎年2000人以上が集う済生会学会（大阪国際会議場で開催された第68回済生会学会）



診療科別の医師や管理栄養士など病院・施設の枠を越えた横断的研究グループが多数ある



全国のMSW研修



〈宮崎〉日向病院 看護部新人研修



全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ



全国の中堅看護師研修



〈大阪〉特養高寿園 介護補助員として働く全盲の女性



〈大阪〉中津看護専門学校 戴帽式



済生会は明治天皇の「済生勅語」に基づいて設立されました。

そこには、社会に増えてきた困窮者に無償で医療を行うことで、ひとりでも多くの生を済いのちおうという強い思いがありました。

創立時、名称を「恩賜財団済生会」として天皇におうかがいしたところ、「済生の事業は天皇と国民が一緒になって行うのだから、皇室だけが先行する恩賜財団は適当でない」とお許しになりませんでした。

そこで、「済」と2行に分けて組み文字にし、目立たないようにすることでやっとお許しをいただくことができました。

戦後、財団から社会福祉法人に変わりましたが、天皇のお志を忘れないため、今でも「社会福祉法人済済生会」を正式名称としています。

新憲法下で社会保障制度が充実してきたため、無料低額診療を根幹事業とする済生会存立の理念は危機を迎えました。

しかし、社会には「公共の手」からこぼれ落ちる人たちが必ずいます。特に、昨今はそういう人たちがむしろ増える傾向にあります。

済生会の必要性はますます高まっているのです。

## 100年を超え、これからもすべてのいのちのために



明治天皇



第6代総裁 秋篠宮殿下



- 44年2月11日 明治天皇「済生勅語」を発し、お手元金150万円ご下賜
- 44年5月30日 済生会の設立許可（創立記念日）
- 44年8月21日 初代総裁に伏見宮貞愛親王、初代会長に桂太郎総理大臣
- 44年9月9日 医務主管に北里柴三郎

- 1年10月24日 紋章として「なでしこ」を制定
- 3年1月10日 巡回診療班組織される
- 5年4月1日 看護婦講習所開設認可
- 12年4月2日 第2代総裁に閑院宮載仁親王
- 12年9月1日 関東大震災 被災病院、診療所多数

- 20年8月21日 第3代総裁に高松宮宣仁
- 26年8月22日 医療法による公的
- 27年5月22日 社会福祉
- 36年5月30日
- 37年10月
- 56

- 62年5月28日 高松宮記念基金創設
- 62年4月21日 第4代総裁に高松宮喜久子妃
- 62年2月3日 高松宮宣仁親王薨去
- 62年5月30日 創立70周年記念式典 天皇陛下ご臨席
- 7年1月17日 阪神・淡路大震災 臨時に24時間診療所開設
- 7年1月17日 阪神・淡路大震災 臨時に24時間診療所開設
- 12年4月3日 高松宮喜久子妃が名誉総裁 第5代総裁には三笠宮家の寛仁親王
- 13年5月30日 創立90周年記念式典 天皇皇后両陛下ご臨席
- 16年12月18日 高松宮喜久子妃薨去
- 22年12月10日 本会のマスタープラン「第四次基本問題委員会報告」
- 23年3月11日 東日本大震災 本会職員多数被災地へ
- 23年5月30日 創立100周年記念式典 天皇皇后両陛下ご臨席
- 24年6月6日 第5代総裁寛仁親王薨去
- 25年4月1日 第6代総裁に秋篠宮殿下
- 26年1月15日 四代目済生丸就航
- 29年4月1日 第13代会長に有馬朗人



会長 有馬朗人



理事長 炭谷 茂



天皇皇后両陛下ご臨席のもと、執り行われた創立100周年記念式典



朕惟フ世局ノ大勢ニ隨ヒ  
國運ノ伸張ヲ要スルコト  
方ニ急ニシテ經濟ノ狀況  
漸ニ革マリ人心動モスレハ  
其ノ歸向ヲ謬ラムトス政ヲ  
為ス者宜ク深ク此ニ鑑ミ  
倍ク憂勤シテ業ヲ勸メ  
教ヲ敦クシ以テ健全ノ發  
達ヲ遂ケシムヘシ若夫レ  
無告ノ窮民ニシテ醫藥  
給セス天壽ヲ終フルコト  
能ハサルハ朕ク最軫念シテ  
措クサル所ナリ乃チ施藥  
救療以テ濟生ノ道ヲ弘ム  
トス茲ニ内帑ノ金ヲ出クシ  
其ノ資ニ充テシム御克ク朕ク  
意ヲ體シ宜キニ隨ヒ之ヲ  
措置シ永ク衆庶ヲシテ  
頼ル所アラシムコトヲ期セヨ

済生勅語

# 全国の支部

済生会

検索

<http://www.saiseikai.or.jp>

済生会 法人本部

TEL: 03-3454-3311 東京都港区



岡山済生会総合病院

## 九州ブロック

福岡県済生会

TEL: 092-771-2981 福岡市中央区

佐賀県済生会

TEL: 0955-73-3175 唐津市

長崎県済生会

TEL: 095-827-5041 長崎市

熊本県済生会

TEL: 096-351-8000 熊本市南区

大分県済生会

TEL: 0973-24-1100 日田市

宮崎県済生会

TEL: 0982-63-1321 東臼杵郡門川町

鹿児島県済生会

TEL: 099-210-5460 鹿児島市

## 中四国ブロック

鳥取県済生会

TEL: 0859-42-2818 境港市

島根県済生会

TEL: 0855-54-0101 江津市

岡山県済生会

TEL: 086-252-2211 岡山市北区

広島県済生会

TEL: 082-884-2566 安芸郡坂町

山口県済生会

TEL: 083-924-6338 山口市



〈大阪〉中津病院

## 近畿ブロック

滋賀県済生会

TEL: 077-552-1221 栗東市

京都府済生会

TEL: 075-955-0111 長岡京市

大阪府済生会

TEL: 06-6763-0257 大阪市中央区

兵庫県済生会

TEL: 078-987-2222 神戸市北区

奈良県済生会

TEL: 0744-29-0170 橿原市

和歌山県済生会

TEL: 073-426-2325 和歌山市



福井県済生会病院

## 北信越ブロック

新潟県済生会

TEL: 025-233-6161 新潟市西区

富山県済生会

TEL: 076-437-1111 富山市

石川県済生会

TEL: 076-266-1060 金沢市

福井県済生会

TEL: 0776-23-1111 福井市



〈北海道〉小樽病院

## 東北・北海道ブロック

北海道済生会

TEL: 0134-21-2757 小樽市

岩手県済生会

TEL: 0197-61-5080 北上市

宮城県済生会

TEL: 022-293-1281 仙台市宮城野区

山形県済生会

TEL: 023-682-1131 山形市

福島県済生会

TEL: 024-544-5171 福島市

## 関東ブロック

茨城県済生会

TEL: 029-254-9292 水戸市

栃木県済生会

TEL: 028-626-1500 宇都宮市

群馬県済生会

TEL: 027-252-6011 前橋市

埼玉県済生会

TEL: 048-252-0857 川口市

千葉県済生会

TEL: 047-403-1510 習志野市

東京都済生会

TEL: 03-3451-8211 港区



福岡総合病院



〈三重〉特養明和苑

愛媛県済生会

TEL: 089-952-0332 松山市

三重県済生会

TEL: 0598-51-2626 松阪市

香川県済生会

TEL: 087-868-1551 高松市

神奈川県済生会

TEL: 045-423-2301 横浜市神奈川区

静岡県済生会

TEL: 054-280-5026 静岡市駿河区

長野県済生会

TEL: 0267-66-6800 佐久市

愛知県済生会

TEL: 052-571-5251 名古屋市西区



〈東京〉中央病院



露にふす 末野の小草 いかにと  
あさ夕かかる わがころかな

—生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人は  
いないだろうか、いつも気にかけて仕方がない—  
初代総裁・伏見宮貞愛親王殿下は明治45年、本会事業の  
精神を野の撫子なでしこに託して歌にお詠みになりました。その  
御心を、いつの世にも忘れないようにと、撫子の花に露  
をあしらった紋章にして大正元年から用いています。

Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

社会福祉法人 恩賜財団 済生会

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル21階  
TEL: 03-3454-3311 FAX: 03-3454-5576  
E-mail : headoffice@saiseikai.or.jp